



2015年3月期 第3四半期 決算説明会

パイオニア株式会社
代表取締役 兼 社長執行役員
小谷 進

2015年2月9日

本日発表のポイント

1. 2015年3月期 第3四半期 連結決算:

- 第3四半期の営業利益は、前年同期比で減益となったが、計画を上回った
- 9ヵ月通期の営業利益は、前年同期、計画とも上回った

2. 2015年3月期 連結業績予想:

- 通期の業績予想については、売上5,150億円、営業利益125億円は変更せず
- USD高により為替差損が増加していることから、経常利益および当期純利益を前回予想から15億円減少の各々40億円、185億円に修正

本日の説明

1. 2015年3月期 第3四半期連結決算
2. 2015年3月期 連結業績予想

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いいたします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上するユーロ、米ドル、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

1. 2015年3月期 第3四半期連結決算

2015年3月期 第3四半期・9ヵ月通期 連結業績概要

(単位:億円)

	第3四半期			9ヵ月通期		
	当四半期	前年同期	前年同期比	当期	前年同期	前年同期比
売上高	1,364	1,263	108.0%	3,724	3,626	102.7%
営業利益	17	28	60.4%	50	33	151.3%
経常損失	-21	-1	-	-35	-21	-
当期純損失	-23	-17	-	-47	-67	-

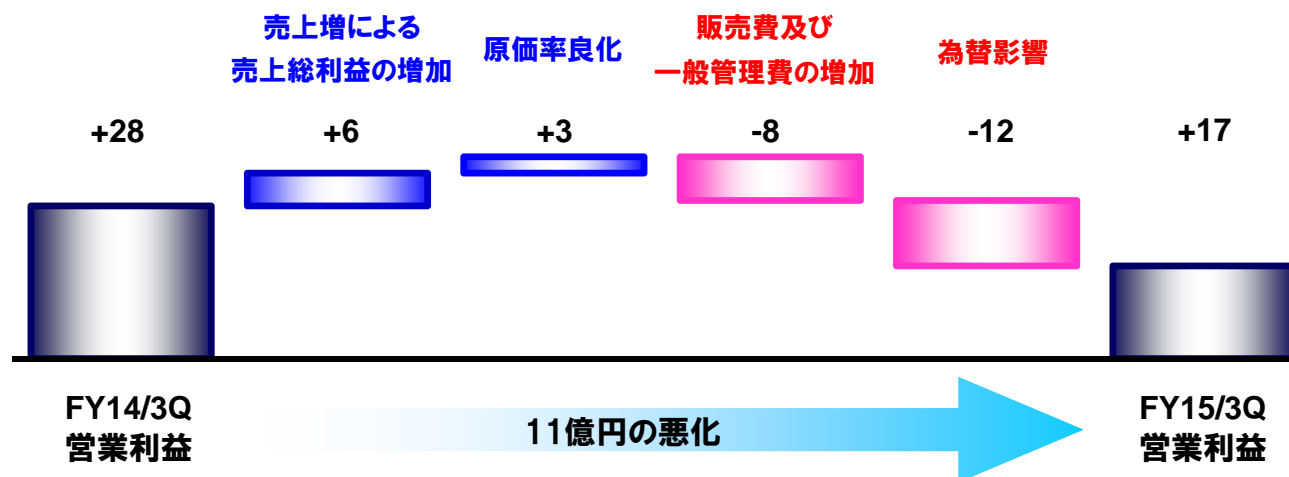
為替 平均レート	1USドル	114.54円	100.46円	+12.3%	106.87円	99.39円	+7.0%
	1ユーロ	143.07円	136.69円	+4.5%	140.30円	132.23円	+5.8%

1株当たり純損失	-6.27円	-4.76円	-1.51円	-12.90円	-19.01円	+6.11円
ROE	-11.7%	-8.2%	-3.5%	-8.2%	-10.9%	+2.7%
1株当たり純資産	221.75円	238.46円	-16.71円			
ROA	-2.7%	-2.1%	-0.6%	-1.9%	-2.7%	+0.8%

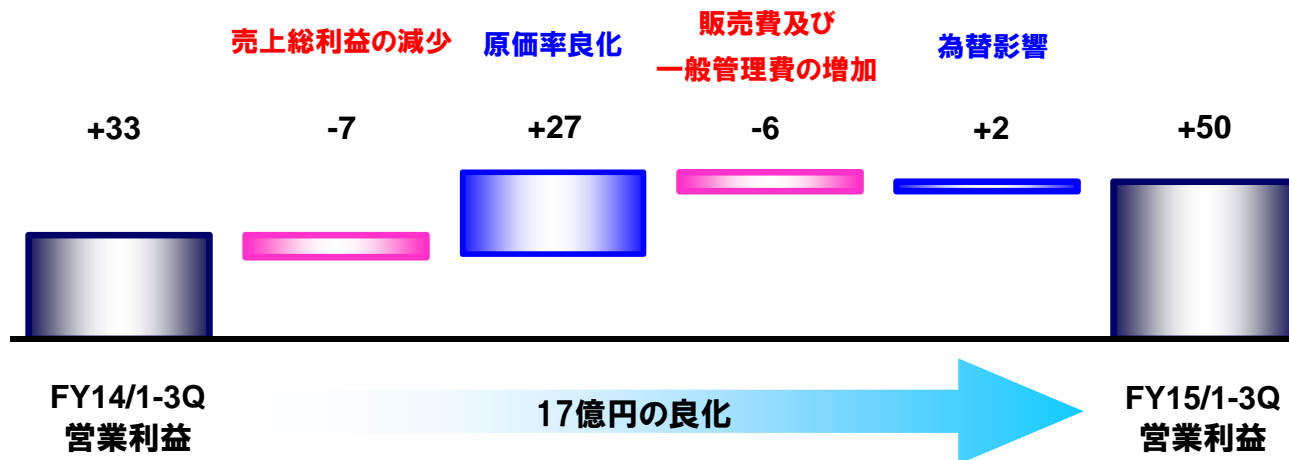
2015年3月期 第3四半期・9ヵ月通期 営業利益増減要因（前年同期比較）

（単位：億円）

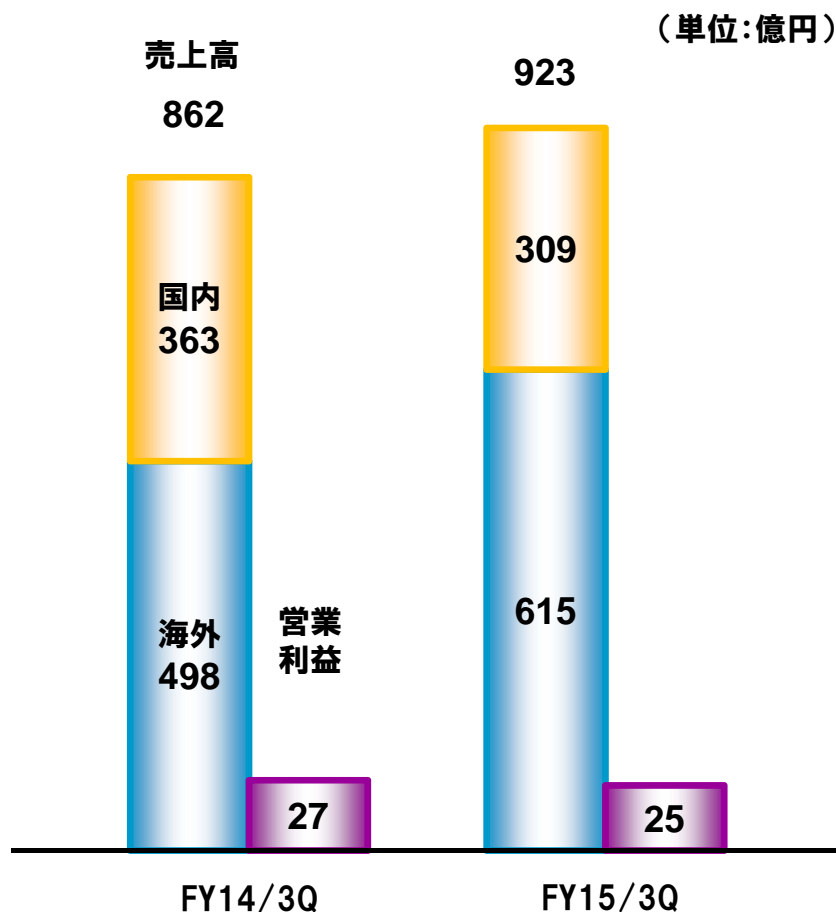
【第3四半期 営業利益分析】



【9ヵ月通期 営業利益分析】



セグメント別売上高・営業利益(第3四半期): カーエレクトロニクス



< 売上高 > OEM比率 56% (前年同期 54%)

前年同期比	107% (国内 85%、海外 123%)
増収要因	OEMカーオーディオ 市販カーオーディオ OEMカーナビゲーションシステム
減収要因	市販カーナビゲーションシステム

< 営業利益 >

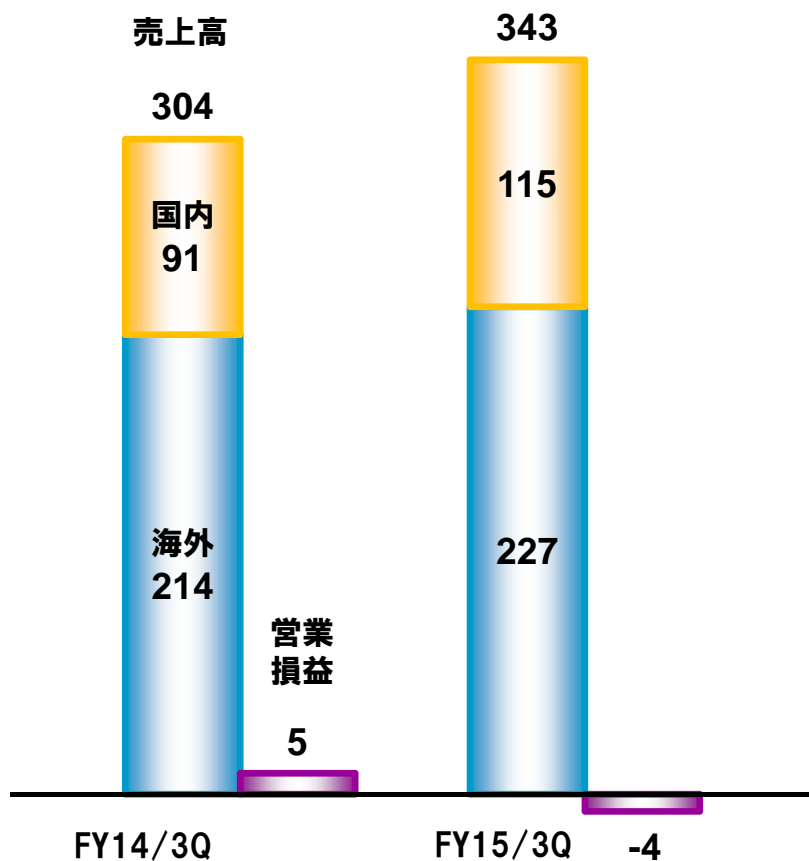
前年同期比	2億円の悪化
良化要因	原価率良化 (+10億円) 売上増による売上総利益増加 (+1億円)
悪化要因	為替影響 (-7億円) 販売費及び一般管理費の増加 (-7億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、
カースピーカー

注)セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

セグメント別売上高・営業損益(第3四半期): ホームエレクトロニクス

(単位:億円)



< 売上高 >

前年同期比	113% (国内 127%、海外 106%)
増収要因	光ディスクドライブ関連製品、CATV関連機器
減収要因	ホームAV製品

< 営業損益 >

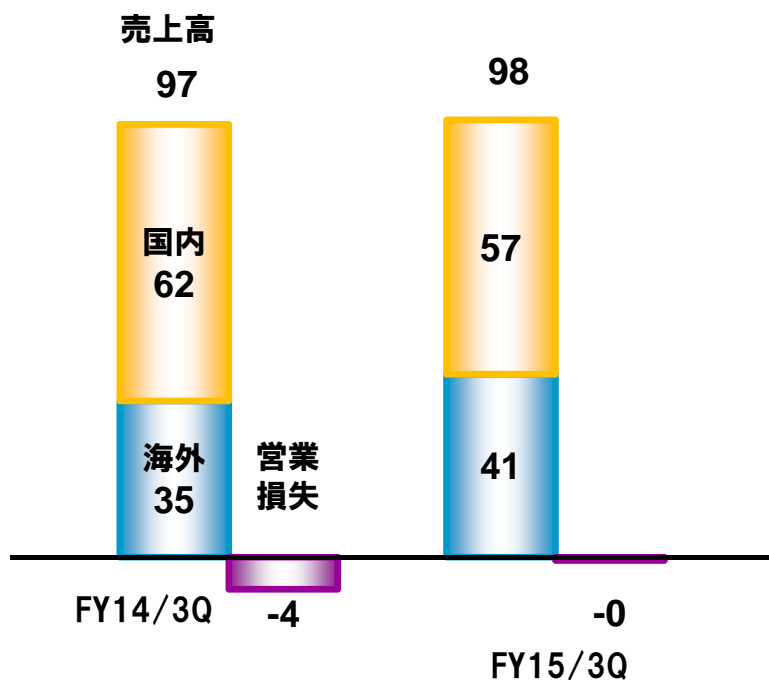
前年同期比	8億円の悪化
良化要因	売上増による売上総利益増加 (+5億円)
悪化要因	原価率悪化 (-5億円) 為替影響 (-5億円) 販売費及び一般管理費の増加 (-3億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
AVシステム、オーディオコンポーネント、DJ機器、CATV関連機器、ブルーレイディスクプレーヤー、ブルーレイディスクドライブ、DVDプレーヤー、DVDドライブ、AVアクセサリ、電話機

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
2. 従来「その他」に含まれていた電話機を当期から「ホームエレクトロニクス」に含めています。これに伴い、前年同期の金額についても、当四半期の表示に合わせて組替表示しています。

セグメント別売上高・営業損益(第3四半期): その他

(単位:億円)



< 売上高 >

前年同期比	101% (国内 92%、海外 118%)
増収要因	FA機器、地図ソフト、電子部品
減収要因	EMS

< 営業損失 >

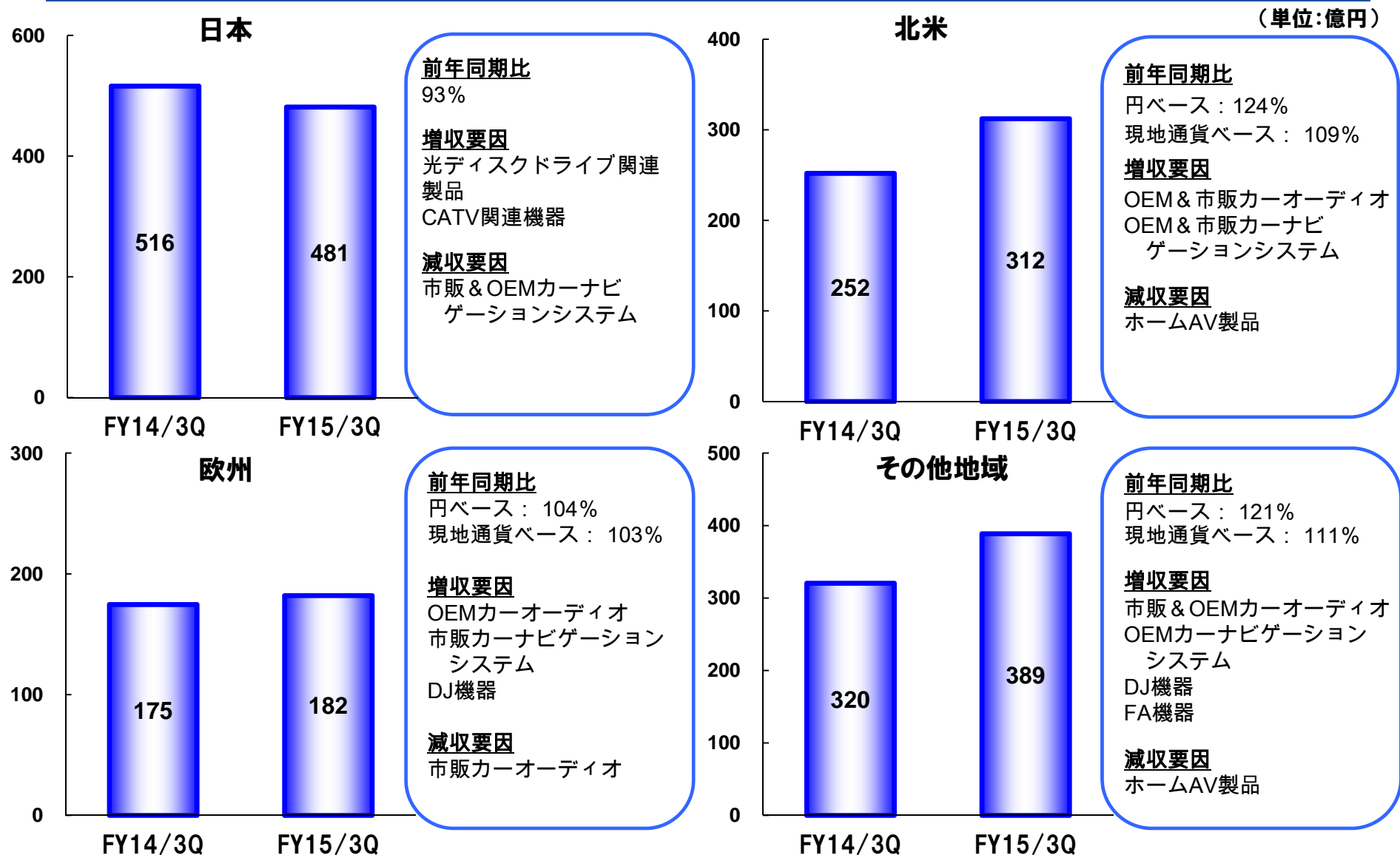
前年同期比	4億円の良化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少 (+6億円)
悪化要因	原価率悪化 (-2億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
FA機器、スピーカーユニット、電子部品、有機ELディスプレイ、
EMS(電子機器受託製造サービス)、地図ソフト

注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2. 従来「その他」に含まれていた電話機を当期から「ホームエレクトロニクス」に含めています。これに伴い、前年同期の金額についても、当四半期の表示に合わせて組替表示しています。

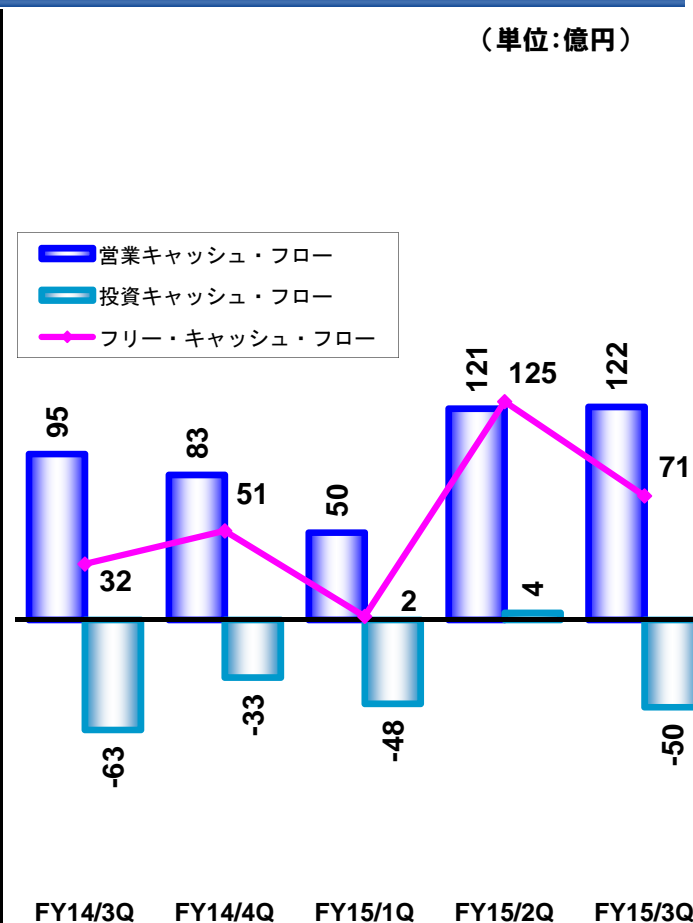
2015年3月期 第3四半期 地域別売上高



2015年3月期 第3四半期・9ヵ月通期 連結キャッシュ・フロー計算書

	第3四半期		9ヵ月通期	
	当四半期	前年同期	当期	前年同期
税金等調整前当期純損益	-12	-4	-10	-33
減価償却費	60	64	172	189
退職給付に係る負債の増減(*)	-3	2	-11	7
事業構造改善費用引当金の増減	-	-	-	-62
固定資産除売却損益	0	0	-12	1
投資有価証券売却損益	-11	-	-16	-
売上債権の増減	-5	60	55	25
棚卸資産の増減	-7	-52	-30	-31
仕入債務の増減	45	-3	51	207
未払費用の増減	-5	12	45	-2
その他	61	16	49	-42
営業キャッシュ・フロー	122	95	293	259
投資キャッシュ・フロー	-50	-63	-95	-186
財務キャッシュ・フロー	-17	-4	-120	66
現金・現金同等物の換算差額	17	15	25	20
フリー・キャッシュ・フロー	71	32	198	73

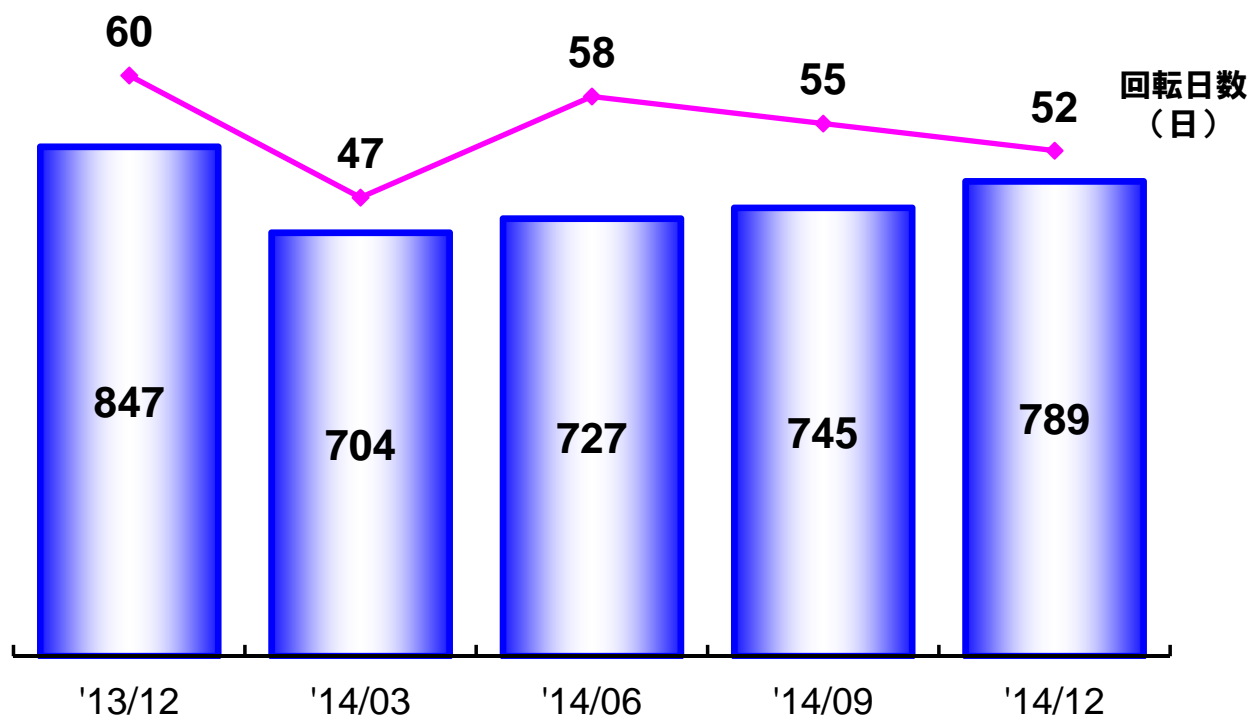
現金・現金同等物の増減	71	43	104	160
現金・現金同等物の残高	443	369		
NETキャッシュ残高	-329	-579		



注) (*)「退職給付引当金の増減額」を含んでいます。

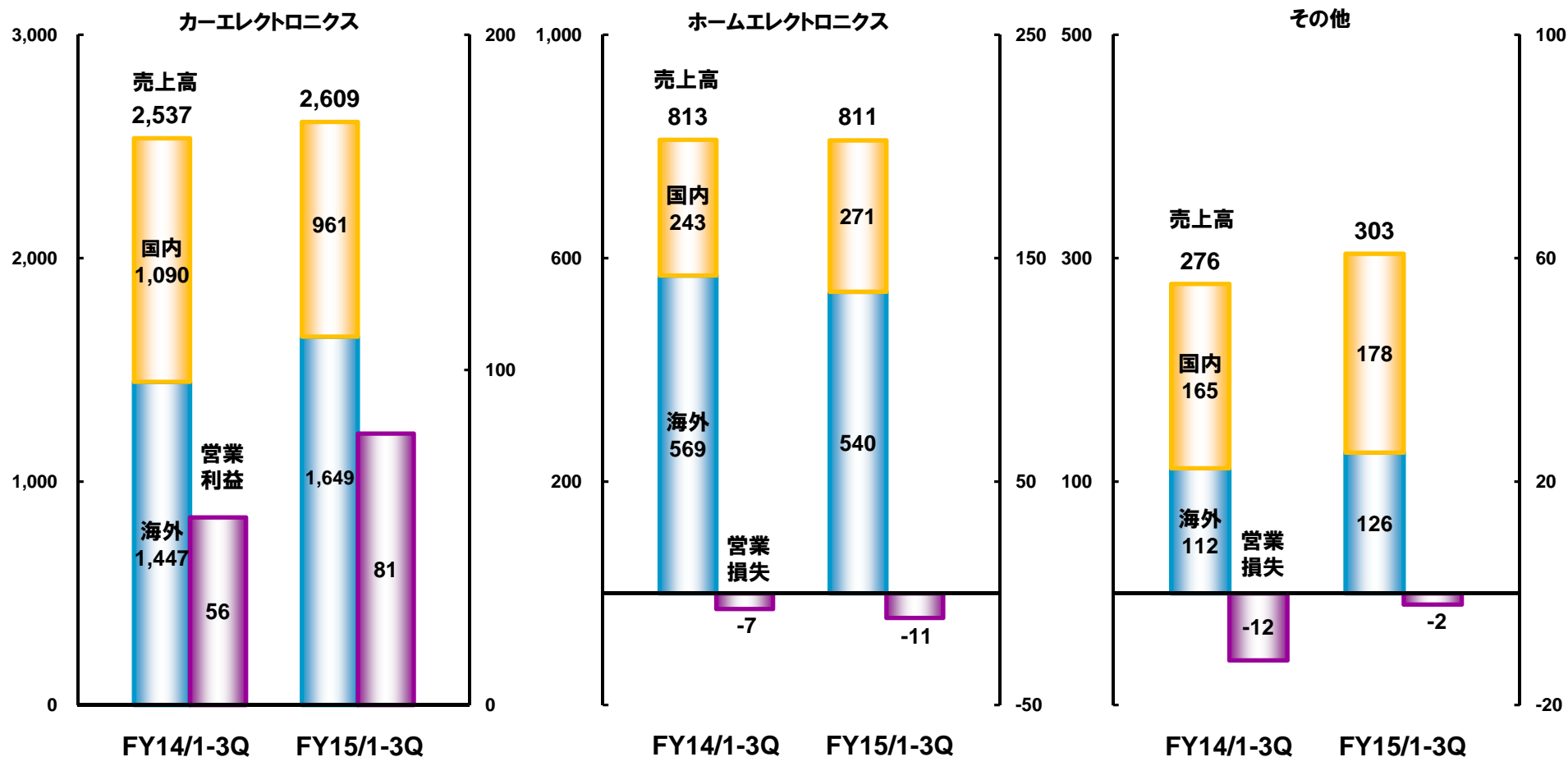
2015年3月期 第3四半期 棚卸資産

(単位:億円)



2015年3月期 セグメント別売上高・営業損益(9ヵ月通期)

(単位:億円)



注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2. 従来「その他」に含まれていた電話機を当期から「ホームエレクトロニクス」に含めています。これに伴い、前年同期の金額についても、当期の表示に合わせて組替表示しています。

2. 2015年3月期 連結業績予想

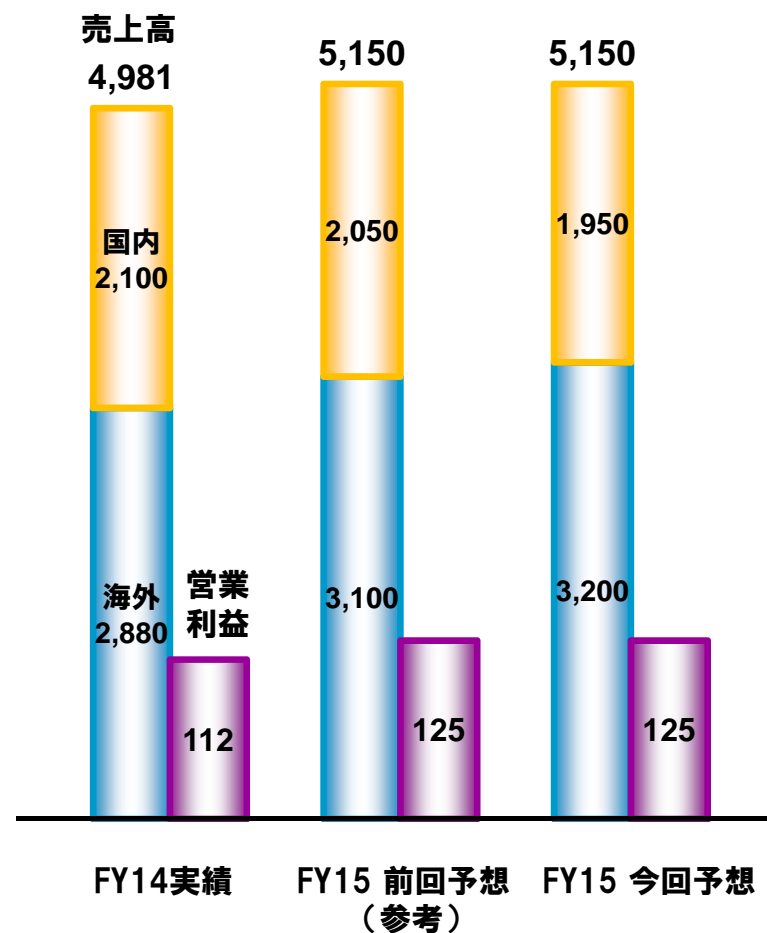
2015年3月期 通期連結業績予想

(単位:億円)

	今回予想	前回予想	前期実績	前期比
売上高	5,150	5,150	4,981	103.4%
営業利益	125	125	112	111.9%
経常利益	40	55	51	78.2%
特別損益	250	250	6	45倍
当期純利益	185	200	5	35倍

		今回予想	前回予想	前期実績
為替前提 レート	1USドル	108.91円	104.02円	100.24円
	1ユーロ	138.98円	136.96円	134.37円

	今回予想	前回予想	前期実績	前期比
1株当たり純利益	50.38円	54.47円	1.49円	+48.89円
ROE	21.1%	23.5%	0.7%	+20.4%
1株当たり純資産	280.74円	266.22円	197.33円	+83.41円
ROA	5.6%	6.1%	0.2%	+5.4%



注) 1. 残り3か月間の予想レートは、1USドルは115円、1ユーロは135円を前提にしています。

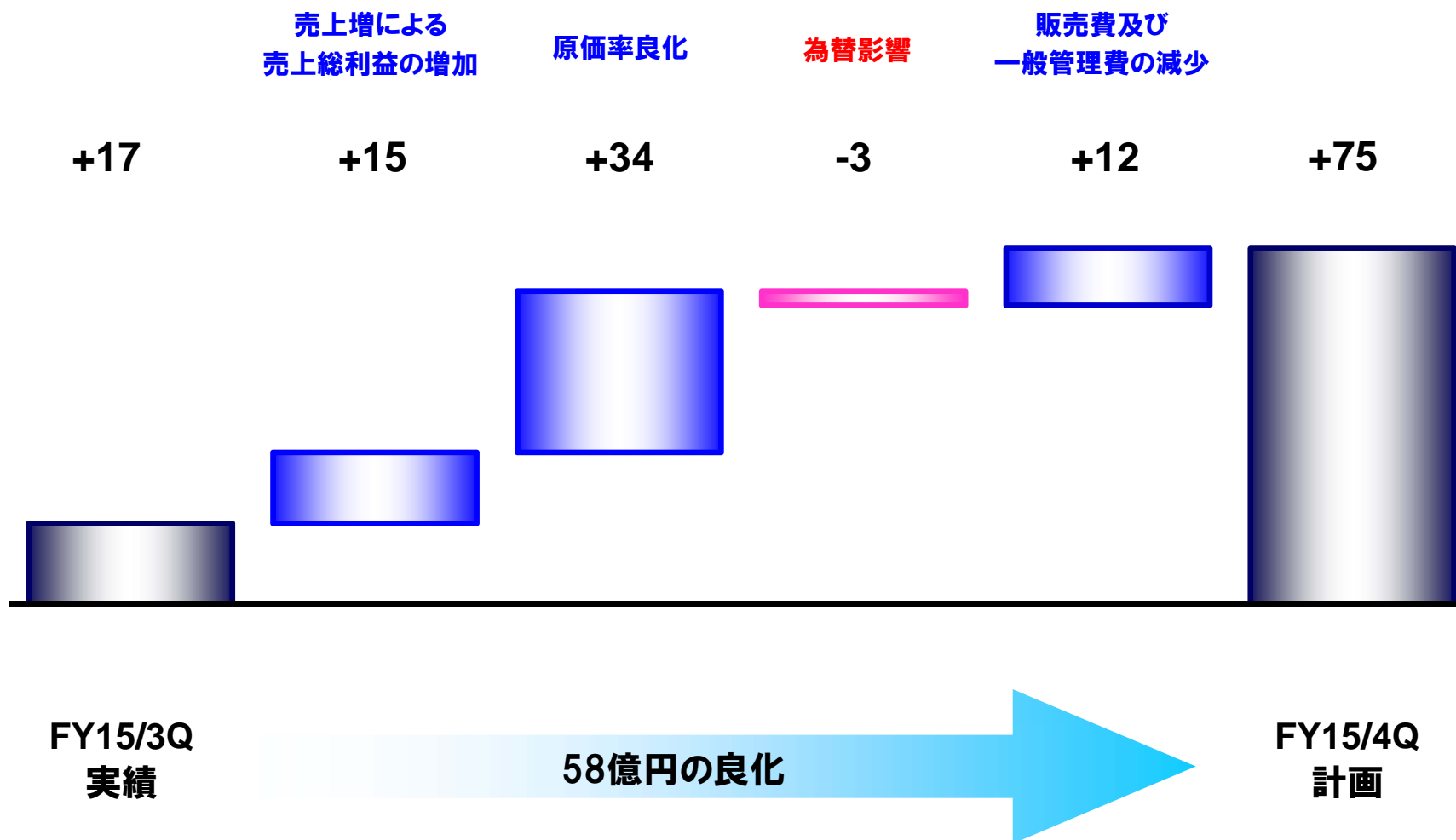
2. 1円の円安インパクト(残り3か月)は、売上高では、USドルは約6.2億円、ユーロは約1.0億円、営業利益では、USドルは約▲1.3億円、ユーロは約0.5億円。

第4四半期 計画のポイント

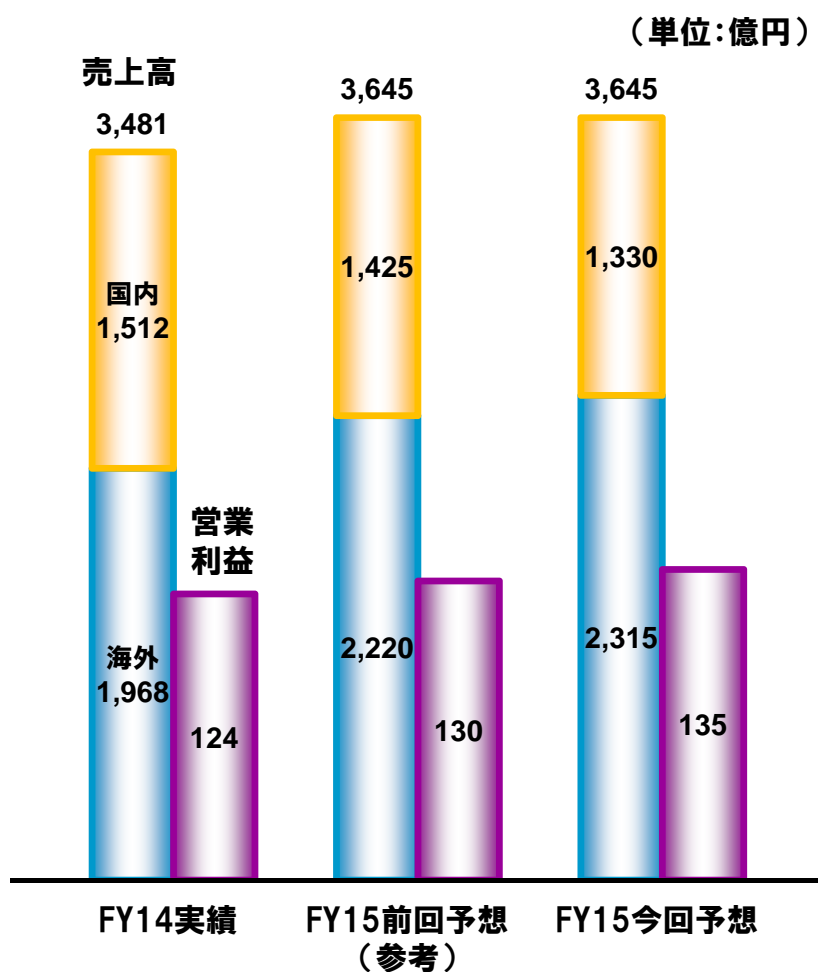
- **第4四半期業績計画:売上 1,426億円、営業利益 75億円**
- (+)
 - 新興国や北米での新製品効果による市販カーオーディオの売上拡大
 - 海外でのカーOEMの自動車メーカーからの受注の伸長
 - 為替の影響は、減価償却費の減少や経費削減等でカバー
- (-)
 - USD高の進行
 - ロシアの通貨不安等による景気悪化
 - 国内自動車販売の減少
- **DJ機器事業の譲渡およびホームAV事業の統合**
 - クロージングに向けて計画通りに進行中
- **構造改革の進捗**
 - 体制の再構築・スリム化を実施中

2015年3月期 第4四半期計画 営業利益増減要因（第3四半期比較）

（単位：億円）



2015年3月期予想：カーエレクトロニクス



< 売上高 > OEM比率 56% (前期 54%)

対前期	105% (国内 88%、海外 118%)
増収要因	OEMカーオーディオ、市販カーオーディオ、OEMカーナビゲーションシステム
減収要因	市販カーナビゲーションシステム
対前回予想	100% (国内 93%、海外 104%)
増収要因	OEMカーオーディオ、市販カーオーディオ
減収要因	市販カーナビゲーションシステム

< 営業利益 >

対前期	11億円の良化
良化要因	原価率の良化 (+43億円) 売上増による売上総利益の増加 (+5億円)
悪化要因	販売費及び一般管理費の増加 (-32億円) 為替影響 (-6億円)
対前回予想	5億円の良化
良化要因	原価率良化 (+17億円)
悪化要因	為替影響 (-14億円)

< 出荷台数 >

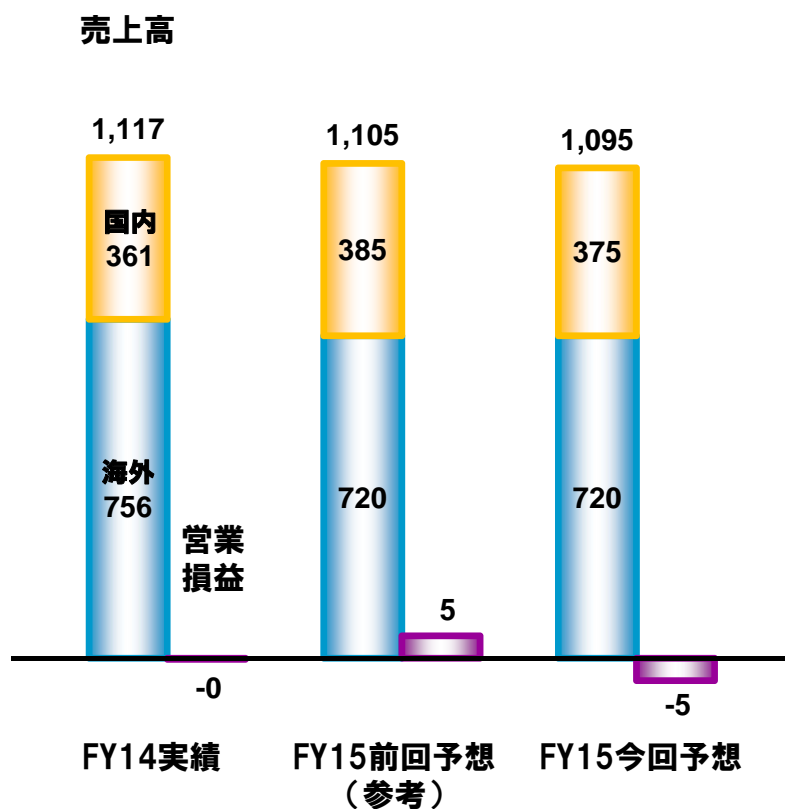
(単位:千台)

	FY14実績	FY15前回予想	FY15今回予想
市販カーナビ	835	740	695
市販カーCD	7,999	8,300	7,820

注)セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2015年3月期予想：ホームエレクトロニクス

(単位:億円)



< 売上高 >

対前期	98% (国内 104%、海外 95%)
増収要因	DJ機器
減収要因	ホームAV製品
対前回予想	99% (国内 97%、海外 100%)
増収要因	光ディスクドライブ関連製品
減収要因	CATV関連機器

< 営業損益 >

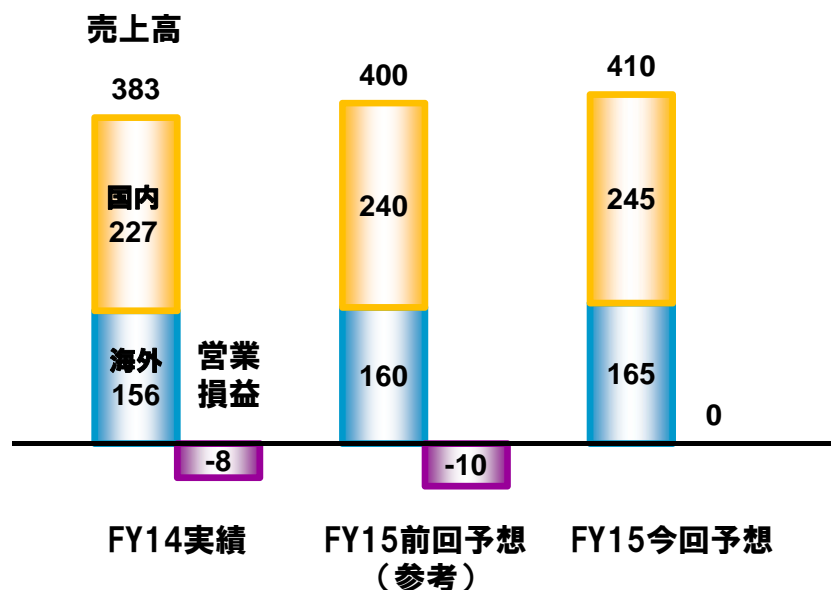
対前期	5億円の悪化
良化要因	原価率の良化 (+7億円) 販売費及び一般管理費の減少 (+7億円)
悪化要因	売上減による売上総利益の減少 (-11億円) 為替影響 (-8億円)
対前回予想	10億円の悪化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少 (+24億円)
悪化要因	原価率の悪化 (-20億円) 売上減による売上総利益の減少 (-11億円)

注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2. 従来「その他」に含まれていた電話機を当期から「ホームエレクトロニクス」に含めています。これに伴い、前期の金額についても、当期の表示に合わせて組替表示しています。

2015年3月期予想：その他

(単位:億円)



< 売上高 >

対前期	107% (国内 108%、海外 106%)
増収要因	FA機器
減収要因	業務用AVシステム
対前回予想	103% (国内 102%、海外 103%)
増収要因	電子部品、地図ソフト
減収要因	その他スピーカー

< 営業損益 >

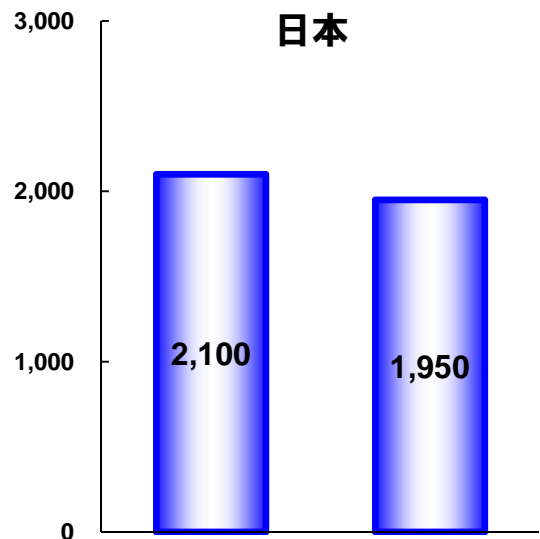
対前期	8億円の良化
良化要因	原価率の良化 (+4億円) 売上増に伴う売上総利益の増加 (+3億円)
対前回予想	10億円の良化
良化要因	原価率の良化 (+8億円) 売上増に伴う売上総利益の増加 (+1億円) 販売費及び一般管理費の減少 (+1億円)

注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2. 従来「その他」に含まれていた電話機を当期から「ホームエレクトロニクス」に含めています。これに伴い、前期の金額についても、当期の表示に合わせて組替表示しています。

2015年3月期予想 地域別売上高

(単位:億円)

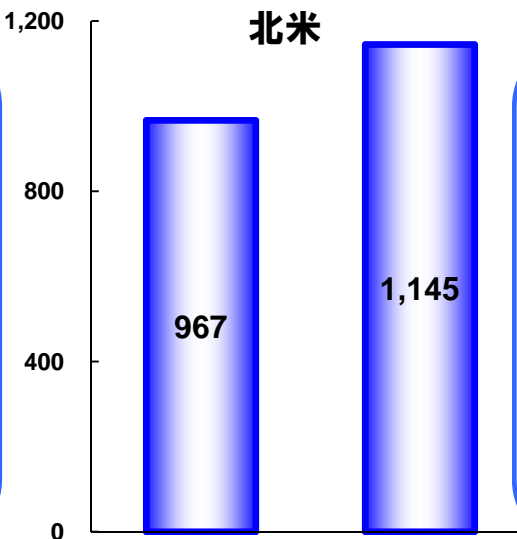


FY14実績 FY15今回予想

前期比
93%

増収要因
光ディスクドライブ関連製品
FA機器

減収要因
市販&OEMカーナビ
ゲーショシステム

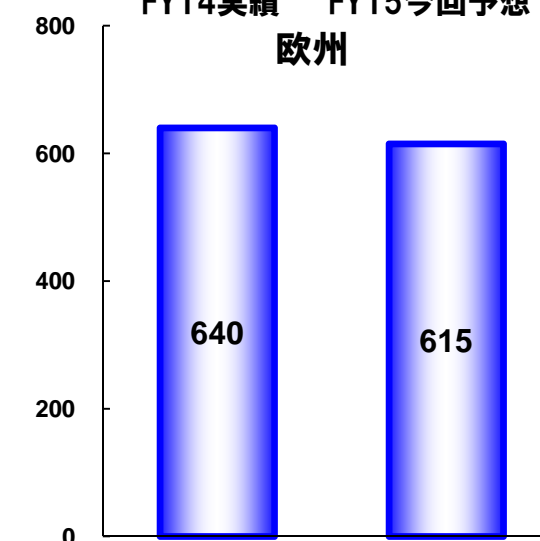


FY14実績 FY15今回予想

前期比
円ベース : 118%
現地通貨ベース : 109%

増収要因
OEM&市販カーオーディオ
OEM&市販カーナビ
ゲーショシステム
DJ機器

減収要因
ホームAV製品

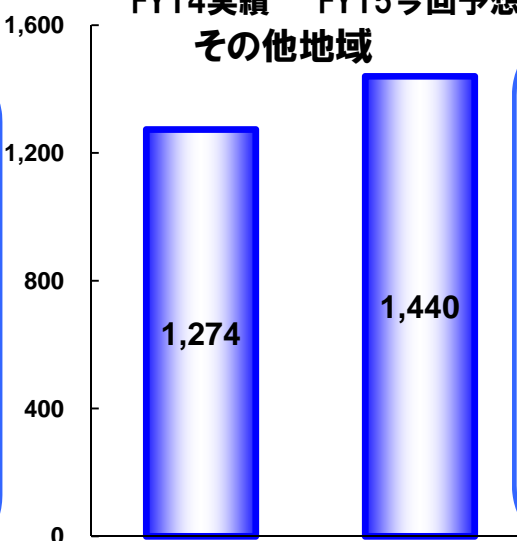


FY14実績 FY15今回予想

前期比
円ベース : 96%
現地通貨ベース : 95%

増収要因
OEMカーオーディオ
AVアクセサリ

減収要因
市販カーオーディオ
ホームAV製品



FY14実績 FY15今回予想

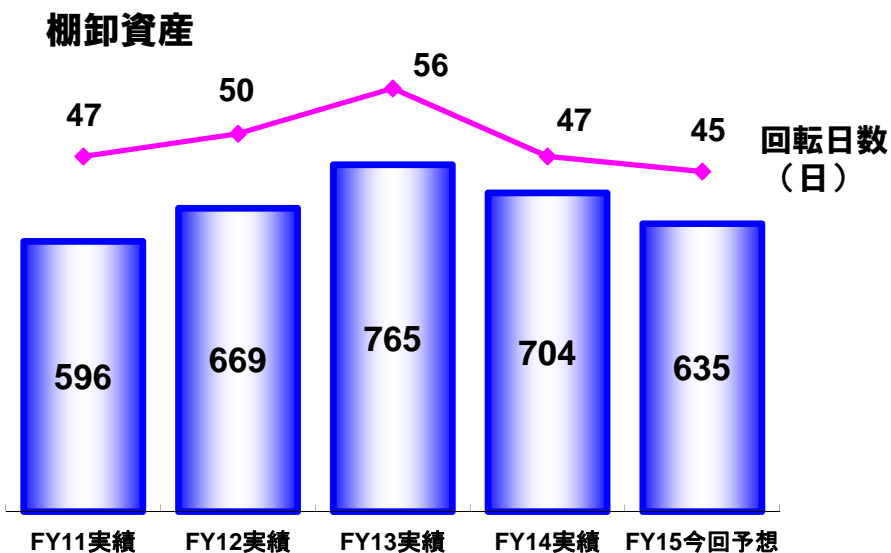
前期比
円ベース : 113%
現地通貨ベース : 107%

増収要因
市販&OEMカーオーディオ
OEM&市販カーナビ
ゲーショシステム
DJ機器

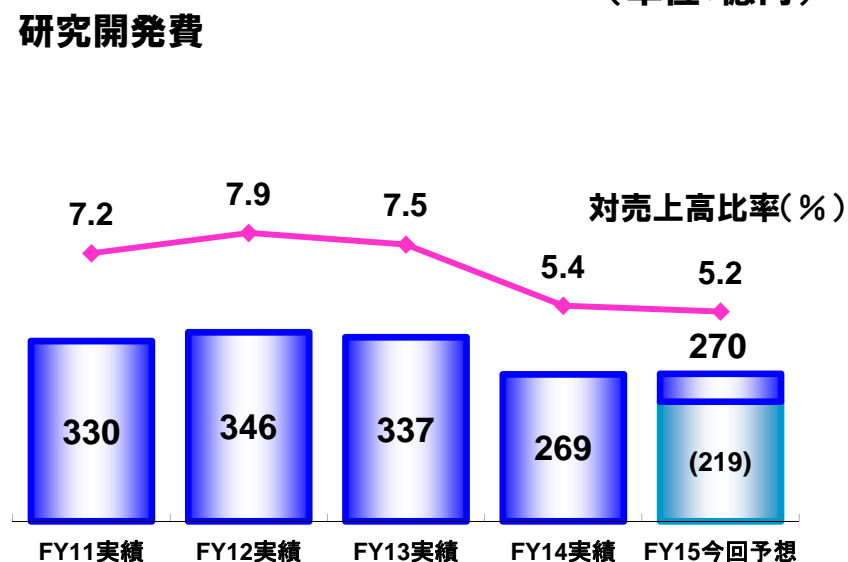
減収要因
ホームAV製品
光ディスクドライブ関連製品

2015年3月期予想 棚卸資産、研究開発費、設備投資、減価償却費

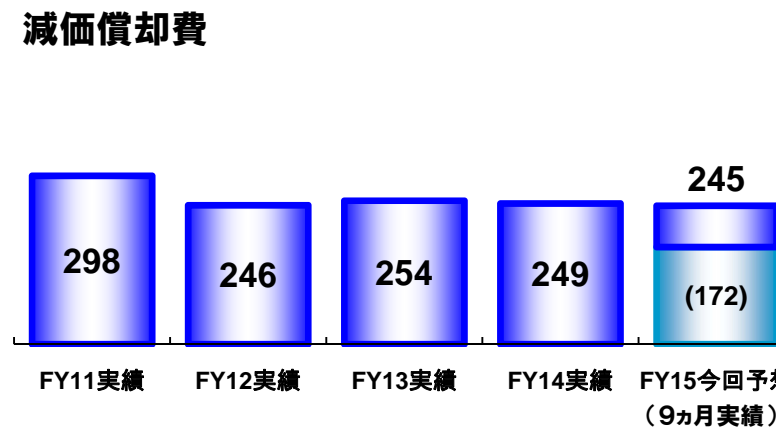
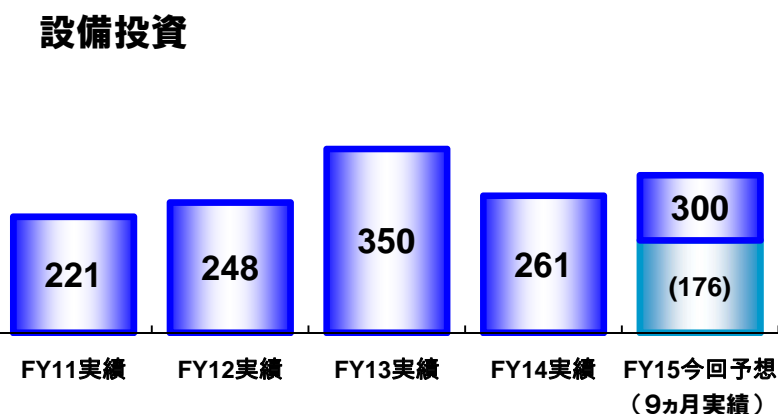
(単位:億円)



注) FY15末の予想からは、ホームAV事業およびDJ機器事業に関わる金額を控除しています。



(9ヵ月実績)



2015年3月期予想： キャッシュ・フローおよび財務指標

(単位：億円)

	FY14実績	FY15前回予想	FY15今回予想
営業キャッシュ・フロー	342	240	225
投資キャッシュ・フロー	-219	320	335
財務キャッシュ・フロー	-9	-540	-555
フリー・キャッシュ・フロー	124	560	560

	FY14実績	FY15前回予想	FY15今回予想
純資産	778	1,030	1,090
自己資本比率	22%	30%	30%
ネット有利子負債	521	-40	-40
D/E比率	1.2倍	0.4倍	0.3倍
現金及び預金	354	380	380

- 注) 1. 「投資キャッシュ・フロー」、「現金及び預金」には、3カ月超の定期預金を含んでいます。
 2. D/E比率＝有利子負債÷(純資産－少数株主持分)

Pioneer